



ISHIKAWA

県議会だより

令和7年6月28日発行
発行・編集／石川県議会(年4回発行)

第53号

女性コンビの 正副議長誕生

都道府県議会初

第一〇七代
石川県議会議長
安居 知世 氏

石川県議会副議長
八田 知子 氏

正副議長を女性コンビで務めるのは、全国の都道府県議会で初めてであり、注目を感じています。皆様のご期待に応えられるように、議長をしっかりと支え、議会の円滑な運営に努めてまいります。私自身、専業主婦を経験しており、今では孫守

りに励むおばあちゃんです。生活者の一番身近な存在として、困りごとを聞き解決していくのが私の役目です。また、女性だからこそ気づけること、取り組みたいことがあります。その一つが女性の健康に関する教育や福祉の充実。他にも、女性防

能登半島地震の復興元年という重要なタイミングで議長に選出され、改めて能登の復旧復興に最優先で取り組んでいく思いを強くしています。私は、自分自身が働きながら出産や子育てを経験する中で、女性が仕事と子育てを両立できる環境を整えたいと考え政治

家を志しました。石川県議会史上初の女性議長として、女性や若者のが政治に参加しやすくなるよう全国都道府県議会議長会へ標準会議規則の改正を提案しています。また、新しい道路を作るだけでなく、添った目標を大切に取り組んでいます。今後も女性の視点を生かし、県政の諸課題に全力で取り組みます。

守るため木の伐採への支援同様、住宅に係る県産材の活用促進への支援拡充など、団体や組織の意見だけでなく、県民の暮らしに寄り添った目標を取り組んでいます。今後も女性の視点を生かし、県政の諸課題に全力で取り組みます。



代表質問

Q 被災地復興を加速させるため、金沢と能登の移動時間短縮を図る必要がある。このため創造的復興の象徴となる「のと里山海道」の一歩も早い全線4車線化を図るべきではないか。



A 柳田IC以北2kmの4車線化を年内に供用することに加え、現在着手中の徳田大津ICから、のと里山海道IC間のうち、県管理区間である徳田大津ICから穴水IC間を国に移管し、国の直轄施工で進めるため、1月に知事自ら国土交通省に要望し、しっかり検討する旨の回答を得ている。



紐野 義昭 ひもの よしあき
金沢市 9期・自由民主党

- ① 水泳を頑張っていたこと
- ② ガリガリ君

Q 仮設住宅について、2人世帯は全て居室が2部屋ある仮設住宅に入居できるようにするために、民有地での建設や住み替えに取り組む必要があり、そのためには国の支援が欠かせないと思うがどうか。



A 入居後に他の仮設住宅に住み替えることは、建設に二重の経費が生じるため国から認められていない。一方、介護など特段の事情があれば、国との協議により認められる場合もあるため、市町からの要望があれば、連携して丁寧に対応していく。



佐藤 正幸 さとう まさゆき
金沢市 4期・日本共産党

- ① 東京で行われた宇宙科学博覧会に、父と泊まりがけで行ったこと
- ② ジョギング、日帰り温泉巡り

Q 住宅再建に欠かせない被災宅地等復旧支援事業を利用する場合、申請する被災者がいたん工事費用を支払わないと補助金を受けられない市町が多いと聞く。工事業者が申請者に代わり補助金を直接受領する「代理受領制度」の必要性についてどのような認識か。



A 被災者からは補助制度があっても工事費用が高額で、一時的な資金繰りに苦慮していると聞く。「代理受領制度」は、被災者の負担軽減に大変有効であり、各市町へ改めて制度を活用するよう周知していく。



太田 臣宣 おおた しげのり
河北郡 2期・自由民主党

- ① 河北潟で魚釣り、田んぼでフナやザリガニを捕まえて遊んだこと
- ② 健康づくり

Q 国道360号は小松空港や小松インター、小松駅と直結し、防災道路としても極めて大事な道路であるが、中ノ峠は幅員が狭く危険箇所が多い。トンネル掘削などを含めた早期改修に向け、調査費を早期に計上してはどうか。



A 国道360号は、県全体の交流拡大に寄与する大変重要な道路であることから、整備を検討する時期に来ているのではないかと考えているが、地元の想いを聞いた上で、調査時期や、基幹道路としての位置付けを県成長戦略に盛り込むことを検討したい。



福村 章 ふくむら あきら
小松市 12期・自由民主党

- ① 片道2kmの砂利道を徒歩で通学したこと
- ② 楽しんで県政に没頭



Q 能登半島地震から1年以上が経過したが、被災地では休業している事業者が多く、後継者がいないケースもあって事態は深刻だ。一日でも早く手立てを講ずるべきと思うが、どのような手立てを考えているのか。



A 能登の事業や店舗を残すため、第三者に事業を売却、継承してもらうことも有力な選択肢であり、セミナーを開催を通じて積極的に働きかけたい。事業継承の諸手続を専門家へ依頼する経費も売り手、買い手双方に助成し、負担を軽減していきたい。



和田内 幸三 わだうち こうぞう
七尾市 9期・自由民主党

- ① ずっと健康で暮らしたい、少しでも人の役に立ちたいと思っていたこと
- ② カツカレー



Q 白山市松本町一金沢市四十万地内を走る「松本四十万東西幹線道路」について、国道8号から山側の区間は、道路線形が悪く、幹線道路としての機能を果たしておらず整備を進めていくことが必要だと思うが、同道路に求められる役割とあわせて、考えを聞く。



A 白山市の重要な拠点施設をつなぎ、地域活性化や広域観光の促進、防災力の向上などに資する道路である。この区間は安全で円滑な道路交通が確保できていない状況だが、まずは市と地域の方が整備の必要性を共有し、実現に向け機運を醸成していくことが大切だ。



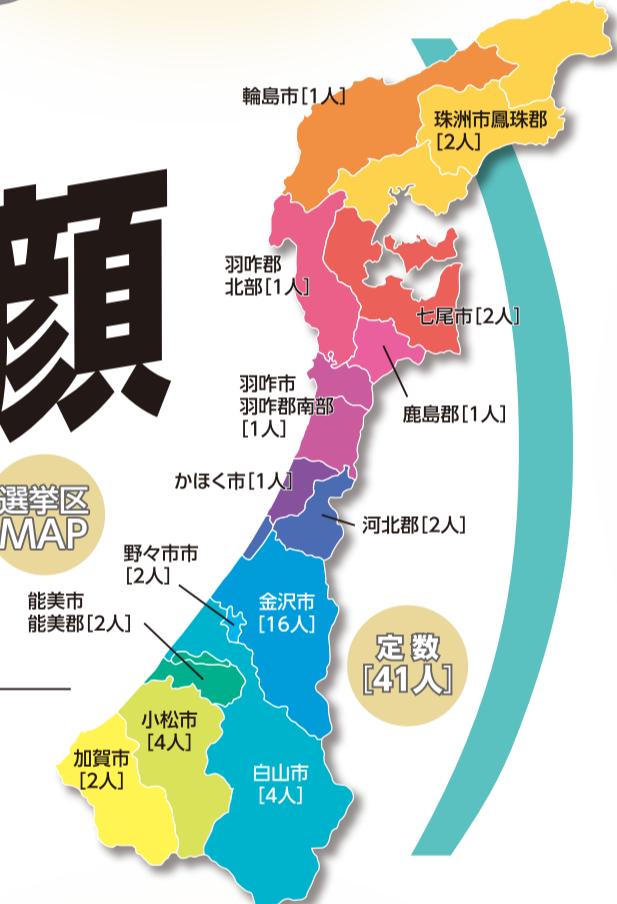
作野 広昭 さくの ひろあき
白山市 6期・自由民主党

- ① 新聞配達に勤めしたこと
- ② YouTubeの視聴



～令和7年2月定例会～ 議員のよこ顔

石川県政を見つめ、時に鋭く問い合わせる県議たち。ここでは令和7年2月定例会での質疑の一部とともに、各議員の人となりに迫るQ&Aを掲載します。議場では見えない人柄を含めて、あなたのまちの「代表者」の素顔を紹介します。



質問内容
① 子どもの頃の思い出
② 最近のマイブーム

県議会ホームページで、本会議や予算委員会の生中継、過去の映像をご覧いただけます



Q 令和8年度に能登でのトキ放鳥が決定した。一方で、トキが餌を得るために田植え間もない稲を踏むことで、米の収量低下を心配する声を聞く。農業者に対して不安を取り除く積極的な広報が大切ではないか。



A トキの生息環境に配慮した米作りを拡大するため、農業者の不安を払拭し、理解を得ていくことが重要だ。これまでにも収量への影響がほとんどないことを農業者へ説明をしてきたところだが、来年度は地区別の栽培研修会や交流会の開催を予定しており、こうした機会を利用して広く周知したい。



岡野定 隆志 おかのじょう たかし
鹿島郡 2期・未来石川

- ① 川でゴリや沢ガニを捕まえて遊んだこと
- ② Creepy Nutsを聞く

Q 地震や豪雨の被災者にとって、元の生活を取り戻すには住宅再建は欠かせない。現在、能登の森林では多くが伐採の時期を迎えており、県産材を活用した住宅建築への助成制度についてどのように考えているのか。



A 住宅の再建支援と県産材のさらなる利用促進のため、被災者を対象に助成額を従前の2倍にするとともに、夫婦2人世帯や単身世帯で需要が見込まれる平屋などの住宅も助成対象とする特例措置を講じる。



堂前 利昭 どうまえ としあき
珠洲市鳳珠郡 1期・自由民主党

- ① 交換日記をしていたこと
- ② クラフトビール

Q 能美市内の特別支援学校の整備地を寺井高校敷地内とした理由は何か。また、同校は地域と密着した教育を行っており、こうした特性を生かしたインクルーシブ教育を実践すべきだと考えるがどうか。



A 通学の利便性や新たな用地取得が不要なことなどを総合的に判断し、整備地を決めた。インクルーシブ教育については、寺井高校の特色である陶芸施設を活用した両校生徒の交流などが考えられ、令和11年度の開校に向けてしっかりと検討していく。



龜田 豊 かめだ ゆたか
能美市能美郡 1期・自由民主党

- ① 友達と野球やラジコン、クワガタ採りをして遊んだこと
- ② 息子とテニスをする



「常任委員会」が県政の課題をしっかりとチェックします!

石川県では、令和7年を「復興元年」と位置づけて、能登の復旧・復興と、「幸福度日本一」の実現に向けて、石川県成長戦略の具現化に取り組みます。

以下の4常任委員会は、月に1回開催し、石川県が抱える課題や県の施策などについて審査しています

総務危機復興企画委員会

県政運営の核となる財政の健全化やデジタル化の推進、県民の安心・安全のための危機管理、能登半島地震・奥能登豪雨からの復旧・復興、新幹線・空港などの交通政策、移住・定住の促進などについて審議します。



文化商工公安委員会

個性と魅力にあふれ活力ある県を目指し、文化の創造と発展、スポーツの振興、国内外からの観光誘客・国際交流の推進、産業の振興や企業誘致の推進などに加え、治安の維持や交通事故の防止などについて審議します。



厚生文教委員会

県民一人ひとりのライフステージを様々な場面で支えていくため、結婚や妊娠・出産、子育ての支援、介護などの社会福祉や医療の充実、学校教育の質の向上、生涯学習の推進、文化財の保存・活用などについて審議します。



環境農林建設委員会

里山里海をはじめとした豊かな自然環境の保全や農林水産業の振興、金沢競馬の魅力向上、県民の暮らしの向上や安全・安心の確保に向けた道路や河川、港湾等の整備などについて審議します。



いし わか まる
石若丸が
お答えします!

ギモン解決! 県議会ってなんなん?

分かりそうで分からぬ、石川県議会にまつわる
素朴なギモンに、県議会マスコットキャラクター
「石若丸」がQ&A
方式で答えます。

Q ① 県議会って何をするところなの?

A 県議会は、県民の代表者として選ばれた議員が集まって、石川をもっと住みやすくするためにどうしたらいいか、県のルール(条例)を決めたり、お金の使い道(予算)を話し合って決める大切な場所だよ。また、知事が行う仕事が正しく進んでいるかをチェックする役割もあるんだ。

Q ② 県議会はいつ開かれるの?

A 毎年決まった時期(2月、6月、9月、12月)に開かれる「定期会」と、急いで決めることがある時に開かれる「臨時会」があるよ。議員全員が集まって話し合う「本会議」では、知事が提案したお金の使い道(予算)などに賛成か反対かの決定(「議決」)をするんだ。その「議決」の前に、議員がテーマごとに分かれて、専門的にくわしく調べて話し合う「委員会」があるんだよ。

県議会 だよりが リニューアル

見やすいデザインと
わかりやすい記事構成を心がけ、より親しみやすい紙面となりました。県民の皆さまが、県議会をより身近に感じるきっかけになればうれしいです。



ISHIKAWA
県議会
だより

●お問い合わせ／石川県議会事務局企画調査課

〒920-8580 金沢市鞍月1-1

TEL 076-225-1036 FAX 076-225-1037

石川県議会ホームページ

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/gikai/>

石川県議会 検索



県議会に対する
ご意見・ご提言
をお寄せください

E-mailアドレス gikai@pref.ishikawa.lg.jp

県議会では、県民の声を取り入れた運営に力を注いでいます。ご意見やご提言は、下記のE-mailからもお送りいただけます。ぜひ皆さまの思いを、県議会にお伝え願います。